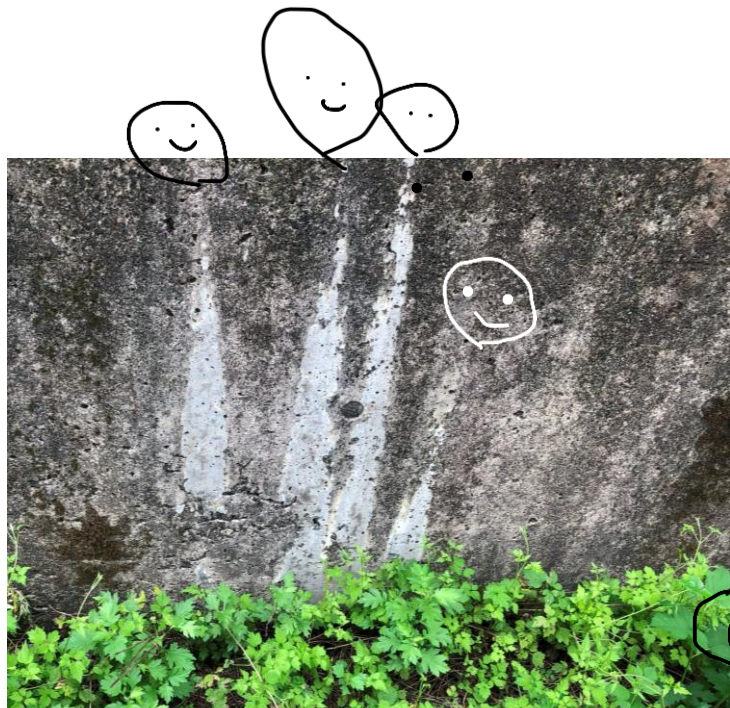


障がいのある方と演劇の時間を過ごしてみるワークショップ 参加者を募集します。



年間日程：1日からでも参加可能です。

2024年

★11月23日(土)・24日(日)

12月21日(土)・22日(日)

2025年

1月18日(土)・19日(日)／2月15日(土)・16日(日)

3月15日(土)・16日(日)／★4月19日(土)・20日(日)

5月17日(土)・18日(日)／6月21日(土)・22日(日)

★7月19日(土)・20日(日)・21日(月・祝)／8月2日(土)

開催時間：14:00～16:30 受付は13:30から

11月は
特別編

★の月は2日間（7月は3日間）とも東京から演出家の川口智子さんを迎えて実施します。2025年4月ぐらいから少しずつ準備をして7月は鑑賞無料の発表（上演あるいは報告会）を行う予定です。

おまねきするアーティスト

川口智子

かわぐちともこ



演出家。インデペンデント・アーティスト。自身の主な企画・演出作品にコンテンポラリー・パンク・オペラ『4時48分精神崩壊』（作：サラ・ケイン、音楽：鈴木光介）。市民／公共ホールとの取り組みに「くにたちオペラ『あの町は今日もお祭り』（作：多和田葉子、作曲：平野一郎）、ミュージカル『回転木馬』（四日市市）、「劇場留学～お芝居をつくる7日間～」（小田原市）など多数。0歳からの「小さな劇場」（『太陽のタネ』『海のツブ』『宇宙のヒト』）や『「エンデの遺言」を読む』『恋愛のあなた（たち）・断章』などの「大人の読み聞かせ」をシリーズで手掛ける。街中に劇場をつくって遊ぶ「ほろびオーケストラ」としても活動中。

私とあなたのあいだに
演劇を置いてみることから始めさせて
ください。

月に一度集まって、
一年間を過ごしてみて、

少しずつ言葉や動きにしあえたらと
思います。

その足元から見えてきた風景があれば、

誰かに
聞いてもらいたい。
観てもらいたい。

そんな思いから
はじめる、
はじまる、
ワークショップです。

会場：やまぎん県民ホール 練習室 ほか

料金：各日2,000円（当日支払い）
土日連続で3,000円

※障がい手帳のある方は半額です。

対象：20歳～70歳ぐらいまで

○発達障害、知的障害、精神障害の方

○一緒に演劇の時間を過ごしたい方

人数：1人～15人ぐらいまで

申込み方法：

以下を明記してメールでご連絡ください。

①お名前（フルネーム）／②電話番号／
③メールアドレス／④好きなこと／⑤苦手なこと

※メールで申込みののちに、電話で事前面談をおこなわせてください。お話しの後にご参加の意思を確認させていただきます。

連絡先：あし場企画／五十嵐劇場
ikageki.adachi@gmail.com
090-4203-1618（安達）
留守電にメッセージを残してください。

ワークショップでともに遊ぶ人

安達修子

あだちしゅうこ



山形市出身在住。以前は新潟で劇団五十嵐劇場にて俳優として活動。東京で杉並区立公共劇場座・高円寺の劇場創造アカデミーで人材の育成に携わる。2022年より山形市にUターン。障害者生活支援員として働いている。新しい表現の場としてあし場企画を主宰。